

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC	17437	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員 (科目「社会」) (箕野) 私立中学高等学校教員 (科目「英語」) (宮副)		

## 授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI (知性) を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA (自律) とI (知性)、In (国際性) を養う。(宮副)

## 授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)

英米の児童文学の歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外では、フランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

## 授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其一桃太郎」
- 2 浜田広介「泣いた赤鬼」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 有島武郎「一房の葡萄」
- 5 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 6 岡田淳「童退治の騎士になる方法」
- 7 日本の現代児童文学について
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』とナーサリーライム
- 10 R.L. スティーブンソン『宝島』
- 11 L.F. ボーム『オズの魔法使い』
- 12 L.M. オルコット『若草物語』
- 13 ベアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本
- 14 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

## 15 総まとめとReview Quiz

## 授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。(箕野)  
演習形式の授業である。学生の担当を決めて発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。(宮副)

## 準備学修

Web参照すること。

## 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。(箕野)  
平常点15%、Review Quiz 20%、発表、および提出物 30%、レポート 35% (宮副)

## 欠席について

規定に従う。

## テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)  
『英米児童文学のベストセラー40』成瀬俊一編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。(宮副)

## 参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

## 教員連絡先

mino@kasei.ac.jp  
miyazoe@kasei.ac.jp

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳幼児心理学		17445	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
長谷川 貴子	選択	2	公認心理師、臨床心理士		

## 授業の到達目標

乳幼児期の運動・知覚・認知・知性・言葉・社会性・遊びの発達について学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのK (思いやり) とI (知性) を養う。

## 授業の概要

新生児や乳幼児が獲得する能力の豊かさや多様性についての知識を深めるとともに、保育場面においてそれらを育み、促進する大人の関わりについて検討する。

## 授業計画

- 1 はじめに:乳幼児心理学とは
- 2 胎児の発達
- 3 身体・運動機能の発達
- 4 知覚の発達
- 5 認知・思考の発達
- 6 情緒の発達
- 7 ことばの発達
- 8 自己の発達
- 9 親子関係の形成と発達Ⅰ:錯覚から脱錯覚へ
- 10 親子関係の形成と発達Ⅱ:愛着
- 11 社会性・道徳性の発達
- 12 子育て・親としての成長と支援
- 13 乳幼児虐待
- 14 発達の偏りと支援
- 15 まとめ

## 授業の方法

講義とグループワークを中心とする。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

定期試験、小レポート、出席

## 欠席について

学内の規定に従う。

## テキスト

適宜配布する